

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和7年3月31日

学校法人馬場学園 足立つばめ幼稚園

1. 本園の教育目標

生涯にわたる人間形成の基礎を培うことを使命と受け止め、心と体の健康な子どもの育成を目指す。

- ・えがおであいさつ 明るい子
- ・だれにも親切 やさしい子
- ・元気に遊ぶ じょうぶな子
- ・いつもすすんで 考える子
- ・最後までがんばり やりぬく子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・特別に支援の必要な園児への教育内容、方法の改善
- ・英語教育の更なる進展

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	特別に支援の必要な園児への教育内容、方法の改善	B	発達支援センターや療育施設に通所する園児が増加している。この現状から補助員増員やベテラン教員のシフトを改善して、保護者の理解や期待応えられるように努めていく。
2	英語教育の更なる進展	A	2年目を迎えることから、英語講師と担任との話し合う時間を増やし、より楽しめる英語の時間になるように取り組んでいく。

評価 (A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理 由
A	特別支援の必要な園児へのかかわり方について、支援センターの方の話を聞きながら、対応できる教員がその子どもの特性を把握し成長を手助けしていった。保護者の理解も得られ、有意義な1年となった。 英語教育も充実し、さらに子どもたちが英語に親しめるようになった。

評価 (A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	自然に触れ、園児が自ら活動に加わる	食べられる草花、作物を育て、子どもに世話をしてもらい観察し、子どもたち自身の気づき、好奇心、探求心を深める。

6. 学校関係者評価委員会の評価

区の障がい福祉センターへの児童相談件数が、近年2倍にも増えていると聞くとおり、保育現場における対応がさらに重要と感じている。手のかかる子への補助員が、徐々に増やせているので、園の姿勢を評価した

い。

英語教育は保護者の期待も高く、園併設の英語教室も盛況だ。2歳児クラスから始めた子は3年目を迎え、かなり慣れ親しんでいる様子で高く評価したい。

学校評価委員会

園 長 豊田秀一

副園長 馬場悦子

主 任 壹岐真由美・田村順子
岩下美樹

学校関係者評価委員会

倉持和男（卒園児保護者）

和氣加奈子（令和元年度母の会会長）